

## 2年間を振り返ろう

……現実からスタートしよう

### 現実からスタートしよう

文化祭、体育祭と大きな学校行事を終え、みなさんの洛北高校での2年間も終わりました。いよいよ4月からは高校3年生です。この2年間を振り返ってみて、あっという間にここまで来たと感じる人が多いのではないのでしょうか。人は充実した時を送っているときには、時間の経過が早く感じられます。もう3年生かと思ったみなさんは、たぶん充実した2年間を送ってきたのだと思います。それでは、次の学年への移り変わりのこの時期にみなさんは何をすればいいのでしょうか。間違いなく3年生は、今までの学年以上に学習面で厳しくなるでしょう。自分の将来の方向を定めるための最後の追込みの学習です。その厳しい学習に耐え抜くためには、まず今までの2年間の振り返りが重要です。学校生活、授業、自宅での学習、部活動等それぞれに自分自身を振り返って見てください。そうすると、部活動では充実していたけれど学習面では今ひとつだったとか、学校での授業は頑張ったけれど、家庭ではもっとできたなど、現実の自分自身がリアルに浮かんで来ることでしょう。そのような自分の現実をしっかりと把握した上で、3年生ではどのような学校生活を送るべきかをゆっくり考えるのがこの時期だと思います。

### 3年生は今

2月28日に卒業式が終わり、3年生は卒業していきました。しかし卒業後も、私大の3月入試、国公立中後期入試とつづき、自分で納得がいく志望先に進めるよう、最後の最後まで気持ちを切らさずに受験に挑んでいる3年生も多くいます。現在、前期の国公立大学の合格結果が寄せられたところですが、この後も、最後まで粘った人たちの結果が続々と届くことでしょう。その結果を見て、みなさんはすごくあこがれたり、少しでも近づきたいと思ったりすることでしょう。それはそれでいいです。ただ、合格結果のみにあこがれるだけでなく、**最後まで粘るといふその姿勢にあこがれを持ってほしい**です。みなさんはこれからの1年間、目標に向かって努力を続けることでしょう。その頑張りを支えるのは、大学名ではなく**学ぶ姿勢**なのです。その学ぶ姿勢を、卒業していった先輩たちはみなさんに残してってくれました。**裏面に3年生の合格状況**を載せました。

### 受験生になれていますか？

3年生になると、ステージはさらに1段階上がります。授業も演習が増えます。そしてそれぞれが進路を意識した学習を始めます。十人いれば十人とも、重視しなければならぬ教科や単元も違ってきます。これが**いわゆる「受験勉強」**というものです。

例えていえば、A君は「長文をどんどん読まなければならない」し、B君は「単語力をつける必要がある」し、C君は「中学校の文法から総復習する必要がある」など、10人いれば10人ともやるべきことが違います。そしてこの受験勉強は明日の小テストにすぐ役立つということはありません。でも文法の総復習をすると決めたら毎日、文法の問題集を1ページずつやっていくのです。

そして一般的な場合、6月には部活動から引退し、学習時間が大幅に増えます。でも、受験を意識した勉強を今から始めておかないと、「時間だけはあるけど、部活動をやってたときのほうがうまく時間が使えてたのに……」ということが起こります。試行錯誤し、必ずタイムラグが出ます。だから3年生の0(ゼロ)学期というイメージで、**今からうまく時間を使ってほしい**と思います。今からやれば試行錯誤もこわくありません。実際の6月にうまく使えていたらいいのですから。

あと、ざっくりと「どういう人がうまくいったか」いろいろな先生からの声を紹介しておきます。この言葉からも「受験生になる」とはどういうことが学べると思います。

<こんな生徒がうまくいった>

- ・必ずしも運動部系がうまくいかなかったわけではない。引退後のイメージを持ち、それまでに基礎だけは固めておこうと努力していた者は、7月以降の伸びが著しかった上、後半の集中力、馬力でうまくいった。
- ・3年生になっても欠席が少なく、ずっと安定したリズムで淡々と生活できていた者は、うまくいった例が多い。
- ・分からないところをためておかず質問によく来た者や、仲間と放課後残って教え合っていた者はうまくいった例が多い。
- ・1教科でも、理科や社会の仕上がりが早かった者は、その体験が学習法をつかむのに役立ち、残りの教科に活かすことができ、バランスよく学習でき、うまくいった者が多い。

最後にベネッセの「きみは受験生になれているか？チェックシート」をみてください、特別な参考書や問題集をやっているかということはチェックポイントには入っておらず、ごくありふれた10項目が聞かれているということは、このような当たり前のことをするのが「受験勉強」であり、それが当たり前にできたらもう「受験生」なのです。

「きみは受験生になれているか？」 チェックシート	
チェック	チェック項目
<input type="checkbox"/>	学習計画表を作り、実行できている
<input type="checkbox"/>	授業の予習・復習を毎日している
<input type="checkbox"/>	計画が守れなかったときは、原因を考え、計画の見直しなどの対策を講じている
<input type="checkbox"/>	模試の日程を意識して学習をしている
<input type="checkbox"/>	教科・科目ごとの自分なりの学習方法が確立されている
<input type="checkbox"/>	家庭学習のスタート時間は毎日決まっている
<input type="checkbox"/>	家では決まった時間に勉強を始めている
<input type="checkbox"/>	決まった時間に起床・就寝している
<input type="checkbox"/>	勉強についてクラスメイトとお互いに励まし合うことができている
<input type="checkbox"/>	志望大・学部・学科が決まっている
<input type="checkbox"/>	平日180分・休日360分以上の家庭学習時間が確保できている

### キャリア作りという意識を持っていますか

高校では、「進路を選ぶ」という言葉をよく使います。みなさんも卒業後の進路については、「選ぶ」ものだと思っているのではないのでしょうか。しかし、ごく単純に言っても、受験というのは大学が学生を選ぶ試験なのでみなさんは選ばれる側です。ですから「欲しい商品を選ぶ」とは意味が異なることがわかります。

たしかに、「いい大学に入っていい会社に就職していい給料をもらっていい家庭を築く」というような、ステレオタイプの価値観が通用した時代には、進路は「選ぶ」要素が強かったかも知れません。選択肢が今よりはるかに少なく、序列もはっきりしていたからです。しかし現代では、大学も学部も多様化し、就職した人の3割は3年以内にその職場を辞め、企業の寿命は20年を切り、生涯未婚率が3割に達しようとしている時代です。VUCAの時代とも呼ばれる、予測不可能で複雑で曖昧な時代を迎えているのです。

既存の価値観や考え方は通用しません。しばらくは現状のままでも、10年後、20年後にはまったく異なる世の中になっているでしょう。今ある仕事が無くなり、新しい仕事が続々と生まれるとも言われています。ですから**キャリアは、職業経歴というより、広い意味での人生の行路**という意味を持ってきます。もはや「選ぶ」ものではなく、「つくり出す」しかないものになっているのです。

(裏面につづく)

